

2011.3.19(土) - 5.8(日)

休館日：4/11, 4/18, 4/25

「なんだかうれしい! 2011」

あなたの「なんだかうれしい!」 おしえて

自分自身の「なんだかうれしい!」を「ことば」や「いろ」、「かたち」であらわします。だれかの「なんだかうれしい!」を見てみよう。2月下旬より、愛知県児童総合センターに来館した子どもと大人の「なんだかうれしい!」を、どんどん掲示していきます。

「なんだかうれしい!」 てんらんかい

アーティストが、それぞれの「なんだかうれしい!」を表現しました。小栗沙弥子、梶千春、片山一葉、金沢健一、篠原猛史、shogi、竹村陽子、田中もとい、田原幸二、中根理、西田悠真、福永照久、坂田直輝、前田江里奈、清田尚子、山下亮太、山田真、宮ひろしほか

みんなであそぶプログラム

【毎日実施 10:00-4:00】
「なんだかうれしい!」てんらんかいの作品をきっかけにした、いろいろな遊びが館内いっぱいひらけます。

あつまるあそぶプログラム

【土・日曜日、祝日実施 2:00-2:30、3:00-3:30】
家族や友達だけでなく、たくさんの人と一緒に「なんだかうれしい!」を感じる遊びです。

たべるあそぶプログラム

【日曜日実施 11:00-12:00 2:00-3:00】
食べることそのものを楽しむプログラムです。
対象：子どもと大人
定員：各回6組
受付：各回30分前

◎詳しくは、館内の当日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。



2011年の春季特別企画のタイトルは「なんだかうれしい!」。

「なんだかうれしい!」(谷川俊太郎+だれかとだれか、福音館書店2001)という絵本をきっかけにしたテーマです。

わけのないのになぜかうれくなる、生活の中のとてもささいな出来事やよろこび、心がゆれうごくことで「なんだかうれしい!」気持ちになったことはありませんか。

いつもはあまり意識しない「なんだかうれしい!」ことを感じたり、

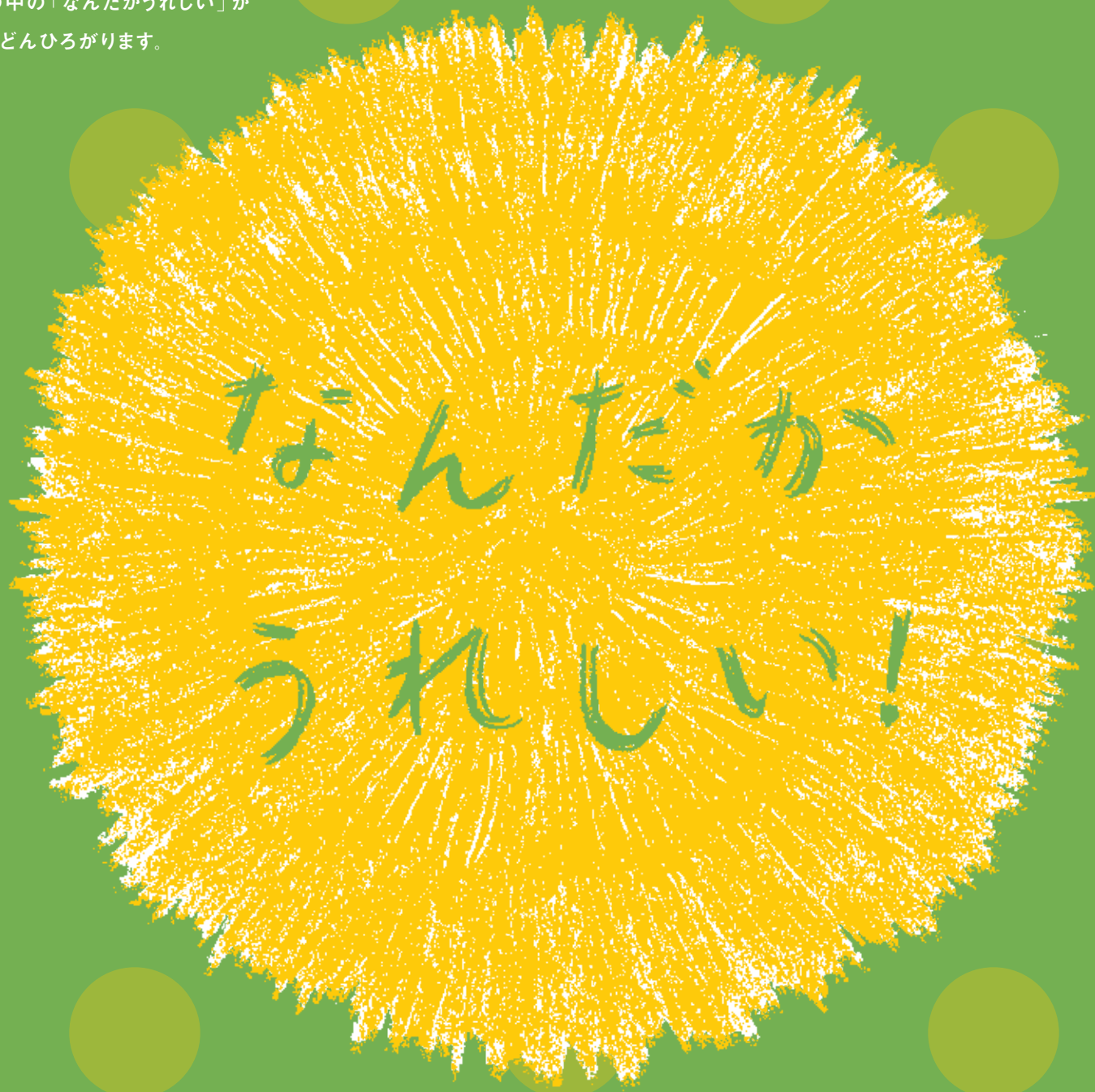
考えたり、そしてそれを「ことば」や「カタチ」、「うごき」であらわしてみたりします。

だれかの「なんだかうれしい!」に、「そうそう」、「わかるわかる」と共感しているうちに、

また、たくさんの人の心の不思議に出会ううちに、

私の中の「なんだかうれしい!」が

どんどんひろがります。



「なんだかうれしい! 2011」 2011.3.19(土) - 5.8(日)

愛知県児童総合センター(愛・地球博記念公園内)

開館時間：9:00-17:00 休館日：4/11, 4/18, 4/25

入場料：中学生以下無料、その他300円 主催：愛知県児童総合センター(財団法人愛知公園協会)



子どもとおとな、ドキドキ発見!

ACC

Aichi Children's Center

レター

News Letter 2011 春



愛知県児童総合センター

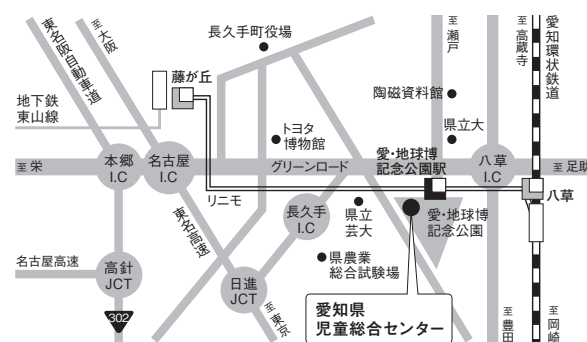
〒480-1101 愛知県愛知郡長久手町熊張(愛・地球博記念公園内)
TEL 0561-63-1110 <http://www.acc-aichi.org/>

開館時間 = 9:00 - 17:00 入館料 = 中学生以下無料、その他300円

3月の休館日 = 7, 14日 4月の休館日 = 11, 18, 25日
5月の休館日 = 9, 16, 23, 30日

公共交通 … 地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から
機関で リニモ「愛・地球博記念公園駅」下車

車で …… 東名高速・日進JCT經由名古屋瀬戸道路長久手ICから
足助方面すぐ(愛・地球博記念公園 北駐車場利用)



愛知県児童総合センターは「遊び」をテーマにした県立大型児童館です。1996年の開館以来、子どもと大人がともに、心と身体をフルに活用して遊ぶことで、新しい気づきや実感できる時間と空間を提供しています。また、遊具や遊びのプログラム開発、よりよい児童環境のためのネットワークづくり、セミナー・研修、調査・資料収集、移動児童館など多岐にわたる活動を行っています。



編集・発行 / 愛知県児童総合センター(財団法人愛知公園協会)

はじめに「ドット・マップ」をつくります。地図上にある「点(ドットマーク)」を手がかりにたくさんの仕掛けや遊びを探します。遊びに参加したことをスタッフに伝えるとパンチで穴をあけてもらえます。

ドット・マップ

新聞やチラシの文字や写真などのカタチにそって画紙で穴をあけます。

点の絵

ドット模様の布を身にまとい、ドットでへんしん!

ドットでへんしん

ライトテーブルの上にドット柄のスクリーンを重ねて、モアレ模様で遊びます。

ドット・モアレ

紙袋にたくさんの穴をあけて飾ります。(福永照久さんの作品をヒントにしました)

あなぶく

ドットのカードがどんだんひろがる、チーム対抗の遊びです。

ドット・モット

アーティスト福永照久さんといっしょにたくさんの穴をあけました。とても新鮮な体験になりました。

ドットでなぞる

ドットのごすりえを小さなチップにして、コツコツと糊で貼りました。10月ごろから約3,000人の親子が参加してつくりました。

ドット・ツリー

「dot・点 —ここからはじまる—」は、平成22年度の愛知県児童総合センター「冬季特別企画」として実施しました。「dot・点」の企画にあたっては、アーティスト福永照久さん、呂ひろさんのご協力をいただきました。(2010.12.18 - 2011.1.23)

たくさんのビニール傘や家具などに穴をあけ、部屋に設置しました。この空間に入ると、とてもふしぎな感覚になりました。(福永照久さんとACCの共同で制作しました)

room

細長い紙に穴あけポンチで穴をあけます。

ドット・テープ

粘土をひたすら丸め、そのカタチだけまちをつくります。

ドット・タウン

スプーン「ひとさじの中に点の世界をつくります。

ドット・スプーン

真っ暗な部屋の小さな穴からもれた光が全身にうつります。

てんてんハウス

スクリーンいっぱいのドットを遠くから離れてみると…?(呂ひろさんの作品です)

ドットのかげえ

「この年代の「乱暴(と見える)」は、自分のしたいことをストレートに表出したもの、これらのやりとりは、世の中の人とのつきあい方のまなび(事始め)です。大切なことは、子どもが「遊びたかった」「ほしかった」「取られて悔しかった」等々、自分の気持ちを大切な人に言葉で表現してもらい、受け止めてもらうこと(主張が通らなくても)です。子どもたちは、受け止められる経験によって、自分の気持ちに気づき、言葉にすることの心地よさを感じます。寂しいときに「寂しい」とストレートに甘えてくれるれば、お友達をいじめることで「寂しさ」に気づいて！」と表現する変化球より、大人もずっと応じてあげやすいのです。

理屈っぽい話になりました。子どもたちの気持ちの表現に気づくには、大人たちも自分の気持ちに気づく余裕が前提です。ね、「取られたり取られたり」が、お互い様の学びのチャンスと捉えられる場や関係でありたいものです。

この年代の「乱暴(と見える)」は、自分のしたいことをストレートに表出したもの、これらのやりとりは、世の中の人とのつきあい方のまなび(事始め)です。大切なことは、子どもが「遊びたかった」「ほしかった」「取られて悔しかった」等々、自分の気持ちを大切な人に言葉で表現してもらい、受け止めてもらうこと(主張が通らなくても)です。子どもたちは、受け止められる経験によって、自分の気持ちに気づき、言葉にすることの心地よさを感じます。寂しいときに「寂しい」とストレートに甘えてくれるれば、お友達をいじめることで「寂しさ」に気づいて！」と表現する変化球より、大人もずっと応じてあげやすいのです。

理屈っぽい話になりました。子どもたちの気持ちの表現に気づくには、大人たちも自分の気持ちに気づく余裕が前提です。ね、「取られたり取られたり」が、お互い様の学びのチャンスと捉えられる場や関係でありたいものです。



移動児童館 ～ゆめたま号～

愛知県児童総合センターの移動児童館は、遊びのプログラムとスタッフをマイクロバス「ゆめたま号」で地域の児童館などに運び、現地のスタッフも加わって地域の子どもと大人と一緒に遊ぶプログラムです。遊びのテーマは身のまわりにある「もの」や「こと」。そこから生まれる様々な遊びのプログラムを通して、普段はあたりまえだと思っていることをちょっと違う視点から見ます。そうすることで参加した子どもや大人、スタッフにも新しい気づきが生まれてきます。

一番人気は粘土のプログラム

粘土というと、「ベタベタする」「へんなにおいがする」など、ひょっとしたら苦手なイメージもあるかもしれませんが、でも、ここで使う粘土は陶芸用の土、さわったときのひんやりとした感触がとても魅力的。たくさんの粘土にふれ、ココロとカラダを使って遊ぶことがこのプログラムの趣旨です。

伝える楽しい気持ち

大量の粘土を見せると「わぁっっ」と歓声が起こります。大きな粘土のかたまりを目の前で切りわけます。ずっしりとした重さを持つ粘土は、持ち上げられ、落とされ、何度も形を変えて手になじんでいきます。そして、ころころ丸めて団子にしたり、長くのばしてひもにしたり、どんどんならべたり。何かを「つくる」以前の単純な動きで、粘土が迷路のように部屋いっぱいひろがっていきます。そこに建物をつくらせて街にしたり、少し視点を変えてながめたり、足で踏んで歩いたり… ゆっくりと遊びは展開します。最後には全部丸めて、またひとかたまりの粘土に戻してしまいます。カタチとしては何も残りません。でも、遊ぶ過程こそが大切だと考えています。素朴な遊びの中から楽しさは伝わり、最初は粘土にさわれなかった子がいつのまにか輪の中に入ってさわれるようになっていることも… それはスタッフにとってもうれしい気持ちになる瞬間です。

スタッフはもちろん、親や周りの大人たちが言葉をかけながら一緒に積極的に楽しむことで、プログラムや材料そのものの魅力以上にステキな時間になります。ここでも「大人が楽しいと子どもはうれしい」は合言葉です。

愛知県児童総合センターの移動児童館：愛知県児童総合センターで企画・開発した遊びのプログラムを、愛知県内の児童館や子育て支援拠点で実施します。平成23年度の募集時期等の詳細は、23年度のはじめに県内市町村の児童福祉主管課を通じてお知らせします。

主催：愛知県、愛知県児童総合センター(財団法人愛知公園協会) 企画運営：元気スイッチon!! あつまれ! あいちのじどうかん実行委員会



子育てのおはなし

「取ったり、取られたり」の頃

このところ「暴力」と関わる人が多い生活をしています。「児童虐待」も、「ドメスティックバイオレンス」も、どれだけ人の力を奪っていくかーと、その影響の大きさに日々気づかされています。同時に、大変な状況の中から、不死鳥のように羽ばたいていける方たちの力強さにも感服します。子どもたちが自分を主張し始めると、必ず起きてくるのが「お友達のものを取る」「取られると叩きに行く」などというできごとです。2、3歳の子どもたちが集まる場所では、こんなことがひっきりなしに起きています。お母さんお父さんと子どもたちを見ていると、その対処の仕方は実に様々です。「ごめんさいね。○○ちゃん、ダメでしょ、お友達の取ったら」と、まずは謝る人、「○○、ダメでしょ! 返さない!」と強い口調でたしなめる人、「貸して」って言うんだよ。」と諭す人…。

臨床心理士 後藤かをり

この年代の「乱暴(と見える)」は、自分のしたいことをストレートに表出したもの、これらのやりとりは、世の中の人とのつきあい方のまなび(事始め)です。大切なことは、子どもが「遊びたかった」「ほしかった」「取られて悔しかった」等々、自分の気持ちを大切な人に言葉で表現してもらい、受け止めてもらうこと(主張が通らなくても)です。子どもたちは、受け止められる経験によって、自分の気持ちに気づき、言葉にすることの心地よさを感じます。寂しいときに「寂しい」とストレートに甘えてくれるれば、お友達をいじめることで「寂しさ」に気づいて！」と表現する変化球より、大人もずっと応じてあげやすいのです。

理屈っぽい話になりました。子どもたちの気持ちの表現に気づくには、大人たちも自分の気持ちに気づく余裕が前提です。ね、「取られたり取られたり」が、お互い様の学びのチャンスと捉えられる場や関係でありたいものです。

お知らせ

第2回 元気スイッチ on!! あつまれ! あいちのじどうかん

～ここにあるよ! みんな笑顔になれる場所～

愛知県内の児童館が一堂に会するフォーラムです。オアシス21に児童館の遊びが集まり、栄ガスホールではパパイヤ鈴木さんの子育てトークショーも同時開催します。参加は無料です。子育て中のお父さん、お母さんは是非ご参加ください。

主催：愛知県、愛知県児童総合センター(財団法人愛知公園協会) 企画運営：元気スイッチon!! あつまれ! あいちのじどうかん実行委員会

平成23年3月12日(土)

出前じどうかん —あそびばー

時間：10:00～16:30
会場：オアシス21(名古屋市栄)
児童館で人気の遊びやイチオシの遊びがオアシス21に大集合!! ゲームや工作などの遊びが体験できます。子どもたちのパフォーマンスや親子ヨガなど盛りだくさんの遊びを用意して、みなさんのお越しをお待ちしています。また、愛知県全ての児童館を紹介したコーナーもあります。あなたのまちの児童館を探しに来てください!!

出店児童館(12市町)
名古屋児童館、犬山市児童館、岡崎市児童センター、春日井市児童館、北名古屋市児童館、東郷町児童館、豊明市児童館、豊川市児童館、長久手町児童館、半田市児童館、東浦町児童館、愛知県児童総合センター

◎記念講演「イイ人生のすすめ」
時間：13:00～15:00 [申込みが必要です]
会場：栄ガスホール(名古屋市栄)
講師：パパイヤ鈴木さん(振付師・ダンスコーディネーター)
パパイヤ鈴木さんの子育て法や健康ダイエットから、イイ人生の創り方がわかります。彼のライフスタイルからあなたらしいライフスタイルをみつけてみては?

平成23年3月13日(日)

基調講演「児童館の未来にスイッチオン! ～【児童館ガイドライン】作成の動向に注目しよう～」
時間：10:00～16:30 [申込みが必要です]
会場：ウイングあいち(名古屋駅前)
講師：千葉 雅人さん(全国児童厚生員研究協議会 会長)

分科会
○どこまでやれる親支援
○発達障がいを持っている子の理解を深める
○伝えたい 食べる楽しさ・大切さ(食育)
○キレル子どもたち ～家庭 学校とは別の顔～
○学校での対応の仕方を中心に(中高生)
○地域目線からの発信
～知らない!にも知ってもらおう! 児童館のイイところ～

問合せ・申込み先
電話またはホームページより申し込みください。講演申込み締め切り：3月9日(水)
愛知県児童総合センター 元気スイッチon!!事務局
<http://www.acc-aichi.org/>
Tel 0561-63-1110
くわしくはホームページまたは募集チラシをご確認ください